

鍼灸科

介護基礎

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	武田瑞穂子			実務経験	有	職種	介護福祉士				

授業概要

介護に関する基礎知識・コミュニケーションの方法を学びます。

到達目標

世代の違う他者ともスムーズなコミュニケーションを取れる人材育成が目標である。老人や障害のある方との接し方には物理的精神的な技法が存在する。正しい介護技術の習得をすることが良好なコミュニケーションを取るために第一歩と考えられる。加齢や障害が日常生活にどのような影響を与え、それを克服するためにはどのような方法が有るのかを知り、対応策なども習得する。

授業方法

介護することの意義と重要性を確認する。最も大事なことは、介護が必要な方に対してどのように敬意をもってコミュニケーションができるかが問題となってくる。単純な同情や親切ではなく専門家としての言語や振る舞いの在り方を学ぶ。また、簡単な介護と思われがちな車いすの使い方やベッドでの寝返り、移乗などの細かいテクニックの存在を知り、実行できるように体験する。

成績評価方法

期末試験で100%評価する

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

永岡書店「いちばんわかりやすい介護術」

回数	授業計画
第1回	コミュニケーションの重要性
第2回	ICFとは・介護とは
第3回	コミュニケーションとは

第4回	車いすの操作
第5回	車いすの操作
第6回	弱者に対するコミュニケーション
第7回	話し方スキル実習
第8回	杖歩行の介助
第9回	衣服の脱着着替えることの意味
第10回	移乗の介助
第11回	介護保険制度とは
第12回	認知症とは
第13回	ホスピタリティを考える
第14回	サーパントリーダーシップ
第15回	全体の振り返り